

日本植物形態学会第35回総会・大会（札幌大会）のご案内（第3回）

日本植物形態学会第35回総会・大会は、対面（オンサイト）で実施します。
参加者の皆さまには、当日の体調を確認いただき、発熱や咳などの感染症と疑わしき症状のある方は、出席を断念いただけますようお願いいたします。

第35回大会会長：長里 千香子（北海道大）

第35回大会実行委員長：檜本 悟史（北海道大）

第35回大会準備委員長：宮沢 豊（山形大）

第35回大会準備委員：松崎 令（国立環境研）

第35回大会会計委員長：岩元 明敏（神奈川大）

日本植物形態学会会長：野崎 久義（東京大/国立環境研）

日本植物形態学会庶務幹事：林 八寿子（新潟大）

大会現地協力：市原 健介（北海道大）、仲田 崇志（北海道大）

1. 期日 2023年9月6日（水）

2. 会場 北海道大学 理学部 5号館

（〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目）

JR「札幌」駅もしくは地下鉄南北線「さっぽろ」駅より徒歩約15分、地下鉄南北線「北12条」駅より徒歩約8分。 <https://www2.sci.hokudai.ac.jp/faculty/contact-access>

3. プログラム^(注1)

10:00-11:00 評議員会 (北海道大・理学部・5号館・301)

12:00-12:50 総会 (北海道大・理学部・5号館・301)

13:00-13:25 授賞式 (北海道大・理学部・5号館・大講堂 203)

「学会賞」 永田 典子 氏（日本女子大学・理学部）

「平瀬賞」 Toyooka, K., Goto, Y., Hashimoto, K., Wakazaki, M., Sato, M., and Hirai, M. Y. (2023) Endoplasmic reticulum bodies in the lateral root cap are involved in the direct transport of beta-glucosidase to vacuoles.

Plant Cell Physiol 64: 461-473. 代表受賞者 Toyooka, Kiminori 氏（理化学研究所・CSRS）

Moriya, K. C., Shirakawa, M., Loue-Manifel, J., Matsuda, Y., Lu, Y.-T., Tamura, K., Oka, Y., Matsushita, T., Hara-Nishimura, I., Ingram, G., Nishihama, R., Goodrich, J., Kohchi, T., and Shimada, T. (2023) Stomatal regulators are co-opted for seta development in the astomatous liverwort

Marchantia polymorpha. *Nat Plants* 9: 302-314. 代表受賞者 Moriya, Kenta 氏 (京都大学・生態学研究センター)

「奨励賞」 浅岡真理子 氏 (神奈川大学・理学部)
 澁田未央 氏 (山形大学・理学部)
 元村一基 氏 (立命館大学・生命科学部)

13:30-15:46 講演会 (北海道大・理学部・5号館・大講堂 203)

●奨励賞受賞講演 (13:30-13:48)

「花茎の形作りにおける力学的な制御機構の研究」

浅岡 真理子 氏

●奨励賞受賞講演 (13:50-14:08)

「遺伝子発現とイメージ」

澁田 未央 氏

●奨励賞受賞講演 (14:10-14:28)

「花粉管の持続的な伸長制御の研究」

元村 一基 氏

●平瀬賞受賞講演 (14:30-14:48)

「シロイヌナズナ側部根冠 ER ボディは β -グルコシダーゼの液胞輸送に関与する」

豊岡 公德 氏

●平瀬賞受賞講演 (14:50-15:08)

「気孔をもたないゼニゴケで気孔形成関連因子は蒴柄の形成を制御する」

守屋 健太 氏

●学会賞受賞講演 (15:10-15:46)

「電子顕微鏡による探求：植物オルガネラの分化と多様な構造」

永田 典子 氏

15:50-16:50 ポスターフラッシュ^(注2) (北海道大・理学部・5号館・大講堂 203)

16:50-19:00 ポスター発表／ポスター賞表彰^(注3)

(北海道大・理学部・5号館・大講堂 203 横口ビーと 201)

16:50-17:40 奇数番号, 17:40-18:30 偶数番号, 18:45-19:00 表彰式

(番号については後掲の一般講演プログラムをご覧ください)

注1) 新型コロナウイルス流行の状況に応じて、場所・時刻については変更の可能性があります。本学会のウェブサイトを確認ください。

注2) 事前提出していただく概要をスクリーンに投影いたします。持ち時間 (1分程度) 内にマイクを用いて口頭発表してください。概要は PDF ファイル (A4 横向き: 3MB 以内) 1~2枚にまとめて、9月4日 (月) 17:00 までに e-mail で大会準備委員 (国立環境研 松崎 令,

matsuzaki.ryo@nies.go.jp) までお送り下さい。その際、ファイル名は「形態学会ポスターフラッシュ_氏名.pdf」、電子メールのタイトルは「形態学会ポスターフラッシュ_氏名」としてください。なお、ファイルを e-mail で送付できない方は、事前に e-mail で上記大会準備委員（松崎）まで連絡の上ご相談ください。

注³⁾ ポスター賞の対象は学生の発表ポスター限定です。投票権は対面形式での参加者だけとします。

※ 大会参加者の皆様は、まず受付（大講堂 203 入り口付近：10：00 開始）にて名札をお受け取りください。

※ 講演会終了後は速やかにポスター会場へ移動してください。

※ ポスター賞の投票は 18：30 までをお願いします。

※ ポスターの貼り付けは 11:00 から可能です。ポスターセッション終了後は、速やかにポスターを回収してください。

※ 受賞講演会場（大講堂 203）とポスター会場（大講堂横ロビーと 201）は飲み物のみ可です。総会および評議委員会会場（301）は飲食可です。

4. ポスター発表プログラム（申し込み順、発表者は○、学生演者（ポスター賞対象者）は下線）

P-001 維管束の連続性を司る因子 VAN3・VAB 複合体の基部陸上植物における機能解析

○末満寛太¹, 藤田知道², 榎本悟史²

¹北海道大学・院・生命科学, ²北海道大学・院・理

P-002 Half-valve 法で明らかになった多段階の多花粉管拒否メカニズム

○水多陽子^{1,2}, 榎原大悟², 永原史織², 金城行真^{2,4}, 長江拓也³, 栗原大輔^{1,2}, 東山哲也^{2,3,5}

¹名大・高等研, ²名大・ITbM, ³名大・院理・生命理学, ⁴名大・院理・物理,

⁵東大・院理・生物科学

P-003 ゼニゴケ受精卵におけるクロマチンの動態

○久永哲也, Frederic Berger

Gregor Mendel Institute

P-004 Analysis of a blue light receptor CRY1 during plant regeneration

○Li Min¹, Hikaru Sato¹, Takuya Sakamoto², Yayoi Inui¹, Kazunari Yamamoto¹, Tomonao Matsushita³, Sachihito Matsunaga¹

¹University of Tokyo, ²Kanagawa University, ³Kyoto University

P-005 植物の新規シュート再生系におけるクロマチンリモデリング因子の機能解析

○堀江綾香¹, 坂本卓也², 佐藤輝¹, 乾弥生¹, 鈴木穰³, 松永幸大¹

¹東大・院・新領域・先端生命, ²神奈川大・理学・理学, ³東大・院・新領域・メディカル情報生命

P-006 植物ホルモン ABA は倍数体間交雑の障壁を緩和する

Wenjia Xu^{1,2}, ○Hikaru Sato^{1,3}, Heinrich Bente^{1,4}, Juan Santos-González¹, Claudia Köhler^{1,4}

¹SLU, Uppsala BioCenter, ²INRA, AgroParisTech, ³Tokyo Univ., Dept.

Integrated Sciences, ⁴MPI, Molecular Plant Physiology

P-007 ヒストン脱メチル化酵素 LDL3 のカルスにおける機能解析

- 半田和華¹, 佐藤輝¹, 坂本卓也², 松永幸大¹
¹東大・新領域・先端生命, ²神奈川大・理・理
- P-008 非典型 BZR/BES 転写因子 MpBZR3 によるゼニゴケ配偶子器の発生制御**
○古谷朋之^{1,2}, 三枝菜摘³, 山岡尚平³, 南野尚紀⁴, 丹羽優喜^{3,5}, 井上佳祐³, 山本千愛¹, 島津舜治^{2,6}, 西浜竜一⁷, 石崎公庸², 上田貴志⁴, 深城英弘², 河内孝之³, 福田裕穂⁸, 笠原賢洋¹, 荒木崇³, 近藤侑貴²
¹立命館大・生命, ²神戸大・院・理, ³京大・院・生命, ⁴基生研・細胞動態, ⁵GRA&GREEN, ⁶東大・院・理, ⁷東京理科大・理工, ⁸秋田県立大
- P-009 Investigation of the relationship between petiole formation and the adaxial-abaxial patterning in Arabidopsis**
○Yujie Zhao, 中山北斗, 塚谷裕一
東大・院・理・生物科学
- P-010 ASH2 における植物再生能獲得に関与するエピジェネティックな制御機構の解析**
○吉田夏菜¹, 坂本卓也², 佐藤輝¹, 勝山雄喜³, 乾 弥生¹, 松永幸大¹
¹東大・院・新領域・先端生命, ²神奈川大・理・理, ³東理大・理工・応生
- P-011 CLV3 様遺伝子をコードする GSFY は雌雄異株植物ヒロハノマンテマの雌ずいの発達を抑制する**
○風間裕介^{1,2}, 鬼頭 萌¹, 小林壮生¹, 石井公太郎^{2,3}, Marc Krasovec^{4,5}, 安井康夫⁶, 阿部知子², Dmitry A. Filatov⁴, 河野重行⁷
¹福井県大・院・生物資源, ²理研・仁科センター, ³QST・放医研, ⁴Oxford 大・生物, ⁵ソルボンヌ大・CNRS, ⁶京都大・院・農, ⁷東京大・院・新領域
- P-012 原色素体からエチオプラストへの分化プロセスにおけるプロチラコイドの存在意義**
○大目歩果¹, 上床理紗¹, 小林啓子¹, 高橋綾子¹, 大崎有美¹, 秋田佳恵^{1,2}, 和田 元³, 藤井 祥^{3,4}, 小林康一^{3,5}, 永田典子¹
¹日本女子大, ²北里大, ³東大, ⁴弘前大, ⁵大阪公立大
- P-013 エチオプラストから葉緑体への分化プロセスにおける膜脂質の重要性**
○上床理紗¹, 大目歩果¹, 小林啓子¹, 高橋綾子¹, 大崎有美¹, 秋田佳恵^{1,2}, 和田 元³, 藤井 祥^{3,4}, 小林康一^{3,5}, 永田典子¹
¹日本女子大, ²北里大, ³東大, ⁴弘前大, ⁵大阪公立大
- P-014 核膜孔複合体はセントロメア二段階配置制御に関与する**
○伊藤ななみ¹, 坂本卓也², 坂本勇貴³, 松永幸大¹
¹東大・院・新領域・先端生命, ²神奈川大・理・理, ³大阪大・院・理・生物科学
- P-015 ゼニゴケにおける ROP シグナリングによる器官形成制御メカニズム**
○酒井友希, 米塚広樹, 上野亜紀, 石崎公庸
神戸大学・院・理
- P-016 AGL24 を介した菌による植物の性の乗っ取り**
○藤田尚子¹, Michael E. Hood², 薦田優香³, 赤木剛士¹
¹岡山大学・院・農, ²Amherst College・Biology, ³酪農学園大学・農
- P-017 γ線照射によるシュート再生能力向上の分子メカニズム解析**
○橋正隆平¹, 佐藤輝¹, 坂本卓也², 坂本勇貴³, 鈴木孝征⁴, 松永幸大¹
¹東大・院・新領域, ²東理大・理工・応用生物, ³大阪大・理・生物科学, ⁴中部大・院・応用生物
- P-018 発芽初期の葉表皮細胞におけるオルガネラ相互作用**
○秋田佳恵^{1,2}, 高木智子^{2,3}, 小林啓子², 檜垣 匠⁴, 馳澤盛一郎⁵, 永田典子^{2,3}
¹北里大・一般教育, ²日本女子大・理, ³日本女子大・電頭, ⁴熊本大・院・先端科学, ⁵法政大・生命科学
- P-019 紅藻サンゴモ属の節間部の形態解析**
○北沢美帆^{1,2}, Safiye E. Sarper³, 堀部和也⁴

- ¹大阪大学・全学教育, ²大阪大学・院理, ³理研 BDR, ⁴大阪大学・院基礎工
- P-020 鮮黄色葉アサガオ「萌黄」の表現型解析**
○只木亮哉, 吉本光希
明治大学・院・農
- P-021 植物のシュート再生能力獲得に関与するエピジェネティック制御因子の機能解析**
○右橋雅子¹, 坂本卓也², 佐藤輝¹, 大矢恵代³, 稲垣宗一³, 鈴木穰⁴,
角谷徹仁³, 松永幸大¹
¹東大・院・新領域・先端生命, ²神奈川大・理・理, ³東大・院・理・生物,
⁴東大・院・新領域・メディカル情報
- P-022 アーケプラスチダにおける PTS2 型タンパク質のプロセッシング機構の進化**
○篠崎桂一, 林八寿子
新潟大学・院・環境科学
- P-023 アクチン脱重合因子の欠損は病原体感染時に NLR 型抵抗性遺伝子の発現を変化させる**
○松本朋子, 稲田のりこ
大阪公立大学・院・農学
- P-024 植物サイズと核内 DNA 倍加制御におけるアクチン脱重合因子の機能解析**
○酒井彩紀子, 稲田のりこ
大阪公立大学・院・農学
- P-025 祖父江地区におけるイチヨウ品種の比較分析**
呂虹橋¹, 澁谷龍弥², 小林正美², 山下博史³, 井上和仁^{4,5,6}, ○内田英伸^{1,6}
¹名古屋文理大学・フードビジネス, ²筑波大学・物質工学域, ³京都府立大学・環境理,
⁴神奈川大学・院・理, ⁵神奈川大学・化学生命, ⁶神奈川大学・総理研
- P-026 水陸両生植物ミズハコベにおける「異形根性」の発見とその発生制御機構の解析**
佐藤友¹, ドル有生², 古賀皓之¹, 塚谷裕一¹
¹東大・理・生物, ²奈良先端大・バイオ
- P-027 シロイヌナズナ根毛の細胞極性は細胞壁に顕れる**
○四方明格¹, 高橋大輔², 小竹敬久²
¹自然科学研究機構・基生研, ²埼玉大学・理工・生命科学
- P-028 固体培養が水生植物コレオケータの細胞分裂および藻体形成に与える影響**
○成瀬真友香¹, 唐原一郎², 玉置大介²
¹富山大学・院・理工, ²富山大学・学術・理
- P-029 葉緑体 DNA の均等分配を保障する NOF1 の解析**
○小林優介, 大谷直央, 池田彩乃, 廣門秀仁
茨城大学・院・理工
- P-030 クラミドモナスの接合子成熟に伴う EZY1 の局在変化**
○坂本結花, 小林優介
茨城大学・院・理工学
- P-031 側根形成においてオーキシン様応答をもたらす新奇ケミカルの特定**
○多部田弘光¹, 平井優美^{1,2}
¹理研 CSR, ²名古屋大・院・農
- P-032 ミドリトクダミ (*Houttuynia cordata* f. *viridis*) の苞葉形成に関する形態学的研究**
○遠藤みづほ, 岩元明敏
神奈川大学・理・生物
- P-033 単細胞紅藻 *Cyanidiococcus* の生息環境における増殖期と非増殖期の比較**
○辻野代¹, 藤原崇之^{1,2}, 廣岡俊亮², 山下翔大², 宮城島進也^{1,2}
¹総研大・生命科学, ²遺伝研・遺伝形質
- P-034 原始種子植物ソテツの精子の発生過程と遺伝子発現動態の解析**
○外山侑穂, 吉田大和, 東山哲也
東大・院・理

- P-035 ムギ類赤かび病菌に感染したシロイヌナズナ葉の表皮におけるオミクス及び形態解析**
 ○加藤杏果¹, 西内 巧², 唐原一郎³, 玉置大介³
¹富山大・院・理工, ²金沢大・研究基盤, ³富山大・学術・理
- P-036 紅葉・黄葉に伴う光照射下における葉温変化 一色素の光吸収に伴う昇温に注目して一**
 ○南辻茉衣子¹, 酒井 敦²
¹奈良女子大・院・生物, ²奈良女子大・理・生物
- P-037 緑藻 *Pleodorina starrii* における3性共存進化に伴う性決定領域の再編成**
 ○高橋昂平¹, 鈴木重勝², 豊岡博子³, 山本荷葉子⁴, 浜地貴志⁵, 大槻 涼⁶,
 山口晴代², 河地正伸², 東山哲也¹, 野崎久義^{1,2}
¹東京大・理, ²国立環境研・生物多様性, ³法政大・生命科学, ⁴日本女子大・理,
⁵中央大・研究開発機構, ⁶駒澤大・総合教育
- P-038 ネジバナ単一受精説の観察的検証**
 ○福村 薫¹, 水上 茜¹, 中島耕大¹, 鈴木孝征², 東山哲也¹
¹東大・院・理, ²中部大・院・応用生物
- P-039 トレニア属ウリクサの野外集団間交雑時に現れる受精異常**
 ○八廣遥斗, 奥田哲弘, 水上 茜, 東山哲也
 東大・院・理
- P-040 ヒマラヤスギ枯葉由来他感物質はアブシシン酸なのか**
 ○柳楽綾乃¹, 酒井 敦²
¹奈良女子大学・院・生物, ²奈良女子大学・理・生物

5. 大会参加申し込み状況 (50音順 : 8/22 時点)

秋田佳恵, 浅岡真理子, 朝比奈雅志, 市原健介, 伊藤ななみ, 稲田のりこ, 岩根敦子, 岩元明敏, 内田英伸, 上床理紗, 遠藤みづほ, 大井崇生, 大槻 涼, 大目歩果, 奥田哲弘, 風間裕介, 加藤杏果, 北沢美帆, 栗原大輔, 古賀皓之, 小林優介, 酒井彩紀子, 酒井敦, 酒井友希, 坂本勇貴, 坂本結花, 佐々木成江, 佐藤 友, 佐藤 輝, 四方明格, 篠崎桂一, 澁田未央, 末満寛太, 鈴木夏美, 高野博嘉, 高橋昂平, 只木亮哉, 多部田弘光, 玉置大介, 辻野 代, 外山侑穂, 豊岡公德, 長里千香子, 永田典子, 柳楽綾乃, 榎本悟史, 成瀬真友香, 野崎久義, 橋正隆平, 幡野恭子, 林八寿子, 半田和華, 東山哲也, 久永哲也, 廣岡俊亮, 福村 薫, 藤田尚子, 藤原崇之, 古谷朋之, 堀江綾香, 堀口吾朗, 前田英史, 松崎 令, 松永幸大, 松本朋子, 右橋雅子, 水多陽子, 南辻茉衣子, 峰雪芳宣, 宮城島進也, 宮沢 豊, 宮下貴文, 茂木祐子, 元村一基, 守屋健太, 八木沢芙美, 柳生真子, 八廣遥斗, 山下翔大, 吉田夏菜, 李 敏, 渡部八雲, CUI MENGQI, ZHAO YUJIE

6. 日本植物学会第 87 回大会における共催シンポジウム

9月4日(月), 9月7日(木) ~ 9月9日(土) に開催される日本植物学会第 87 回大会において, 日本植物形態学会が共催するシンポジウム 1 件が開催されます。こちらにも奮ってご参加ください。

◎一般シンポジウム (9月8日(金) 9:00~12:00, A会場)

「植物の発生・成長を支える極性形成の制御とその進化」

オーガナイザー: 榎本悟史(北海道大学大学院理学研究院), 北沢美帆(大阪大学全学教育推進機構)

[シンポジウム概要]

生物の発生・成長には, 組織・細胞レベルでの極性の形成が不可欠である。近年, 植物では, 細胞レベルの極性がばらつく例が多数見出されている。ミクロな極性のゆらぎは, マクロな形態の安定性ある

いは可塑性にどのように影響するのだろうか？本シンポジウムでは、発生学・理論生物学・進化生物学などの観点から極性形成について最新的话题を提供し、植物と動物という系統・移動性の異なる生物の比較を通して、生物がどのように極性を獲得し、環境に適応する形で、形態の多様性を進化させてきたか議論する。

7. その他

1. 要旨集は8月30日（水）までに学会ホームページに掲載する予定です。ダウンロードしてご利用下さい。
2. 特許出願予定の内容を含む発表をされる場合は、予め特許庁に所定の手続きをお取り下さい。
3. 大会についての連絡、お問い合わせ等は、下記までお願いいたします。
4. 本年度は、大会後の懇親会は行いません。

[連絡先] 〒990-8560

山形県山形市小白川町1-4-12 山形大学理学部内

日本植物形態学会 第35回大会準備委員長 宮沢 豊

Tel/Fax: 023-628-4614

E-mail: miyazawa@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

<参考>

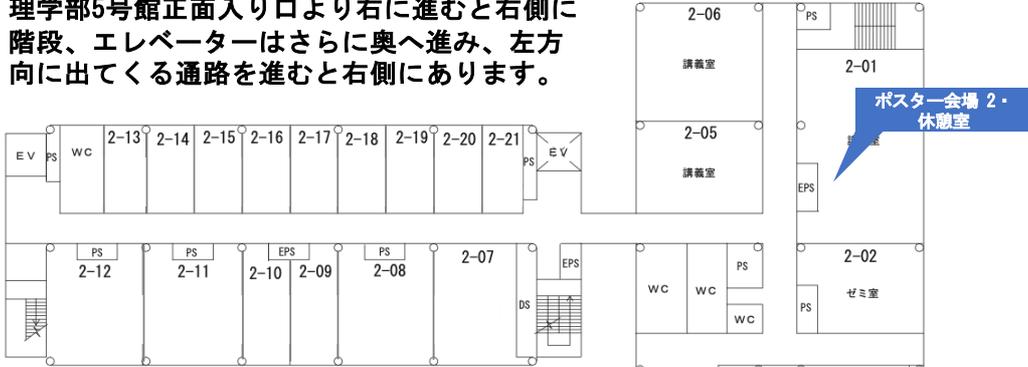
北海道大学理学部 5号館へのアクセス

1. JR「札幌」駅北口より徒歩約 15 分
2. 地下鉄南北線「さっぽろ」駅より徒歩約 15 分
3. 地下鉄南北線「北 12 条」駅より徒歩約 8 分
4. 北海道大学正門より徒歩約 8 分



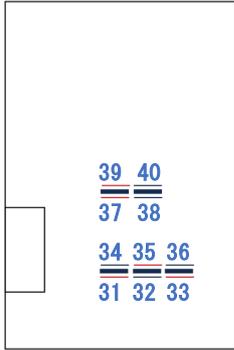
北海道大学理学部 5号館見取り図

理学部5号館正面入り口より右に進むと右側に階段、エレベーターはさらに奥へ進み、左方向に出てくる通路を進むと右側にあります。



ポスター発表会場の拡大

ポスター発表 2
(201)

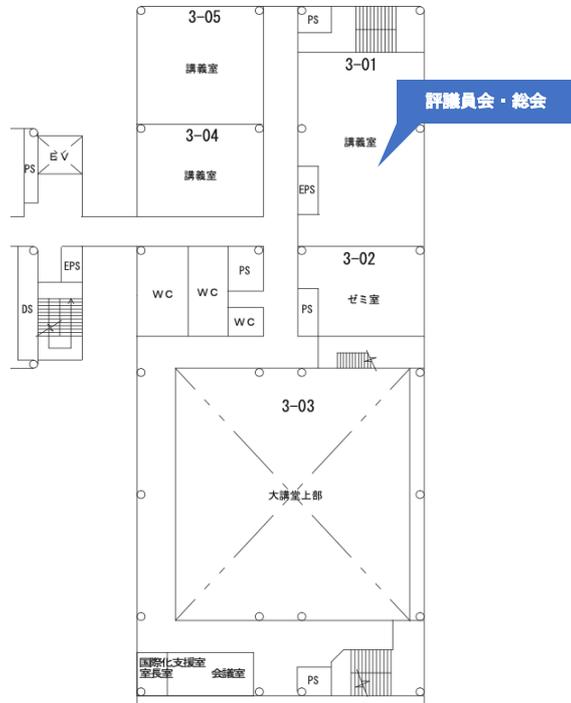


— 奇数ポスター
— 偶数ポスター

ポスター発表 1・
発表賞表彰

受付

理学部5号館2階



ポスター発表 1
(大講堂203横ロビー)



理学部5号館3階